



さいたまマック14周年感謝の集い ～ 人間らしく生きる ～

日 時:2015年6月6日(土) 9:30～15:35

会 場:さいたま市産業文化センター (参加費無料)

いつの頃か、思い通りに生きていくことができなくなっていた。

生きることの孤独に苛まれ、私みたいな人間が生きていてもよいのか?と、人としての根源的な苦悩に覆われていた。肉体的には生きていても社会的には死に瀕し、スピリチャリティー(人間性:自分を大切にする・人を信頼し、人に誠実になる・思いやりがある、希望を描ける等)は崩れ、人間らしく生きることができなくなっていた。

生きることのすべてがアルコールを中心に回っていた。

このような生き方をしていたアルコール依存症者が、生き方の方向性を変え、どのように回復の道を歩み、人間らしい生き方ができるようになっていったのか・・・マックプログラムを修了し、回復への道を歩み続ける回復者本人がその過程を語ります。

アルコール依存症回復支援施設である「NPO法人さいたまマック(地域活動支援センター)」が地域社会に送る回復への希望のメッセージ!

回復、それは飲まないだけではなく、生き方を変え人間性を取り戻すこと。

<相談コーナーの設置>

アルコール問題で悩み苦しんでいる本人や家族の相談をお受けするコーナーを設けます。

主催 NPO法人さいたまマック(地域活動支援センター)
さいたま市見沼区東新井 710-33 鎌倉ハイツ 1階
☎ 048-685-7733

埼玉県自殺対策強化事業費補助事業

プログラム

- 09：30 開場
- 09：45～09：55 開会挨拶（NPO 法人さいたまマック代表理事）
- 10：00～11：00 マックプログラム修了者の話
かつてどのような状況で、何が起こっていたのか？
どのようにして回復への機会に出会い、
人間らしく生きられると感じることができたのか？
そして、マックプログラムに触れて、
今、どのように「平安・生・いのち」を享受しているのか。
- 11：00～12：00 関係者の話（埼玉県立精神医療センター 岸 達也 氏）
- 12：00～13：00 休憩（昼食は各自ご用意下さい）
- 13：00～13：10 お知らせ（さいたまマック後援会）
- 13：15～13：40 回復への歌声：合唱（さいたまマック合唱団）
- 13：45～14：05 マックプログラム修了者の話
- 14：05～14：25 休憩
- 14：25～14：55 絵本の朗読：精神科医 北野 陽子 氏（プルスアルハ）
～ボクのことわすれちゃったの？～
- 15：00～15：30 一言メッセージ
- 15：30～15：35 閉会挨拶（実行委員会委員長）

<通所者が残した言葉から>

マックに来て、
皆から人として信じられ、
自分の責任を自覚する。
そして、
無条件で信じてくれたことに感謝。

※プログラムは変更になる場合があります。

